

YMCA News

11

ホッとキャンプ ～外国にルーツをもつヤングケアラーのためのキャンプ～

名古屋YMCAウエルネススタッフ 瀬川 景子

10月4日～5日、びわ湖青少年の家にて、外国にルーツをもつヤングケアラーを対象とした1泊2日の「ホッとキャンプ」を実施し、中高生18名が参加しました。このキャンプは、名古屋YMCAからの依頼を受け、文部科学省の補助金事業としてYMCAが協働で運営したもので、家庭を支える役割を担う子どもたちが安心して自分らしく過ごせる「ホッとできる時間」を持つことを目的としています。

ヤングケアラーとは、こども家庭庁によれば「本来大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども・若者」と定義されています。全国調査では、小学6年生の6.5%、中学2年生の5.7%、高校2年生の4.1%が「世話をしている家族がいる」と回答しており、1クラスに1～2人程度存在すると推測されます。特に外国にルーツを持つ子どもたちの中には、親が日本語に不慣れなため、行政手続きや学校との連絡、医療の通訳などを担うケースもあり、家庭内で大きな責任を果たしていることが少なくありません。こうした背景から、ヤングケアラーとなるリスクが高まる傾向が指摘されています。

今回の参加者の多くも、早朝からアルバイトをして家計を支えたり、弟妹の世話や家事を担ったりと、日常的に家庭を支える立場にありました。シングルマザー家庭や家庭内での虐待を経験した子もあり、びわ湖で過ごす1泊2日が“誰かを支える時間”ではなく、“自分が安心して過ごせる時間”になってほしいという思いを込めて準備を進めました。事前にはヤングケアラー支援の専門家や日本語講師を交えたミーティングを行い、「やさしい日本語」や文化的配慮について学びました。キャンプ中も子どもたちの表情や言葉に寄り添い、一人ひとりが自分のペースで過ごせるよう心を配りました。



初日はあいにくの雨でしたが、室内プログラムで交流を深め、夜のキャンプファイヤーでは歌と笑顔があふれました。翌日のびわ湖でのカッター体験では、声を掛け合いながら息を合わせるうちに一体感が生まれ、活動後に湖へ飛び込んだ子どもたちは、無邪気に水を掛け合いながら笑顔を見せ、心から楽しむ姿が印象的でした。

キャンプ中は、子ども同士が母語や共通の言葉で助け合う場面も多く見られ、互いを思いやる姿が心に残りました。母国ではない場所で困難な状況にある子どもたちが、同じ境遇の仲間と出会い、つながりを広げていくことは、今後の彼らを支える大切な力になると感じます。

不安や緊張を抱えながらも、生活や活動を共にする中で少しずつ笑顔や会話がが増えていった子どもたちの姿から、改めてキャンプの持つ力を実感しました。情報や支援が届きにくい子どもたちにどのように手を差し伸べていくかという課題は残りますが、小さな一歩を積み重ねることで、また新しい出会いと気づきが生まれるはずです。今後もこの取り組みを継続し、第二回「ホッとキャンプ」の実現を目指していききたいと思います。

チャイルドケア

保育園・幼稚園の運動会

南山幼稚園

きもちを一つに

2学期が始まると同時に、年長児は毎朝園庭で運動会の活動をスタートしました。年長児ならではの競技、特にパラバルーン、フラッグ、リレーでは、昨年から憧れや期待を胸に取り組んできました。タイミングを合わせる難しさや、勝敗への悔しさを感じることもありましたが、そうした経験がクラスの気持ちを一つにするきっかけとなりました。当日は、これまでの積み重ねから自信に満ちた表情の子、少し緊張している子など様々でしたが、やり遂げたあとの誇らしげな笑顔から大きな成長が感じられました。満三と年

少、年中も別日に行いましたが、どの学年も多くの保護者に見守られ、子どもたち一人ひとりが輝く運動会となりました。
(草間 舞香)



かみさわ保育園

仲間とともに

当日はあいにくの天気の中でしたが子どもたちのたくさんのいい顔を見ることができました。練習では



「どうしたらカッコいいかな」「はやく走るにはこの順番がいい」とたくさん相談をする姿がありました。運動会の日が近づくにつれて「楽しみだね」「早く来ないかな」とわくわくして当日を迎えました。

本番ではこれまでの練習で頑張ってきたことがたくさん生かされ、カッコいい、すてきな姿をたくさん見せてくれました。運動会の最後のリレーの勝負では、競り合いの中わずかな差での決着でした。嬉しくて喜ぶ子、悔しくて涙があふれる子とさまざまな表情を見ることができました。

運動会を通して、仲間とともに頑張ることの楽しさや勝負の面白さに気づいてくれていることを願います。
(中村 美沙)

かりやYMCA保育園

楽しむ中に…

「親子で運動遊びを楽しむ」をテーマに考えたプレイヤー。日々の生活の中で子どもたちの楽しいを引き出しながら当日を迎えました。

親子競技では思う存分楽しみ、リレーやバルーンでは、楽しいの中に、悔しい気持ち、もっと早く走りたい…等、いろいろな気持ちと出会う素敵な時間となりました。

友達と励まし合い、みんなで協力して成し遂げた子どもたちはキラキラの笑顔で輝いていました。

親子で楽しみ、成長を感じられるプレイヤーとなりました。
(高橋 咲季)



イベント告知

名古屋YMCAクリスマスキャロル



今年で23回目を迎え、多くの方々のご協力のもと、このイベントを続けられることを嬉しく思います。讃美歌やクリスマスの歌を合唱し、共に祝いましょう！

【日 時】2025年12月6日(土) 14:30～15:10

【会 場】名古屋駅 JRセントラルタワーズテラス

【参加費】成人2,000円、年中児～大学生1,000円

【申 込】前月号同封チラシのFAX提出またはお電話(052-757-3331)にてご連絡ください。

YMCA / YWCA 合同祈禱週

YMCA / YWCA 合同祈禱週2025を開催します。今年のテーマは「Jubilee:150 Years of Prayer in Action. ヨベルの年の祝祭 祈りと行動の150年」。第1部は日本キリスト教団田中真希子先生をお招きし、礼拝を行います。第2部では、名古屋YWCAの「沖縄スタディツアー」、名古屋YMCAの「ロサンゼルスキャンプ」、名古屋

YWCAとYMCAが共同で実施した「ホッとキャンプ」について、それぞれご報告いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

【日 時】2025年11月15日(土) 10:00～11:30

【会 場】名古屋YWCA2階+Zoom

【参加費】無料

【申 込】メールアドレス(info@nagoyaymca.org)またはお電話(052-757-3331)にてご連絡ください。11月12日(水)締切

総主事コラム

献 杯

先日、ある先輩が天の国へと旅立たれました。享年83歳。私との出会いは、13年前に名古屋に赴任して以来のお付き合いです。とにかく破天荒な方で、いろいろと名古屋の街を連れ回していただきました。ある日の昼、仕事私の私に電話があり、名鉄百貨店の寿司屋にいるからとお誘いがありました。急いで駆けつけるとカウンターの奥の席に座っておられ、既にほろ酔い気分です。いつもほんの僅かな肴をあてに、ひたすら日本酒をヌル爛ならぬドン爛で飲み続けるのが彼のスタイル。「あんたは食べたらええねん」と言われますが、高級寿司屋で自由に頼めるわけもなく、ガリを肴にひたすら日本酒のお付き合い。メは決まっかんぴょう巻きでした。夕刻までお付き合いをし、次は2時間ほどサウナへ。酔いを醒まして再び同じ寿司屋に戻るのも彼のスタイルです。再び日本酒を飲み続け、ようやく次の店に向かいますが、長い夜はまだ続きます。酔うたびに「あんたが名古屋

屋に来てくれてよかったわ」と言われることもいつも通り。私とは短いお付き合いでしたが、強烈なインパクトを残されました。学校は途中でリタイヤされていますが、とにかく博学で物知り。人脈の広さと深さは桁外れ。絶対に嘘だと思ふような話が、ほとんど真実であるという、実に不思議な方でした。名古屋YMCAとの関りは中学生時代の少年部活動から始まり、私よりも遥かに長い時間、濃厚な交わりをされた方が多数いらっしゃいます。その一人ひとりの胸の内には、語り尽くせない思い出が今も色鮮やかに生きています。残念ながらご家族に先立たれ、身内の方がいらっしゃらない葬儀となりましたが、多くの仲間に見守られ旅立たれていきました。そんな素敵な先輩がすべての旅たちの準備を終えられた時に、「残された遺産はすべて名古屋YMCAに寄贈する」との遺言を残されました。金額の多寡ではなく、その思いに胸が熱くなると共に、その思いに応える責任を感じています。

本当に最後まで飲み続けられた人生に献杯！

(中村 隆)

海外キャンプ報告

Connected by Heart – Summer in Los Angeles

私はこの夏、ロサンゼルスキャンプに引率リーダーとして参加し、子どもたちと共にかけがえのない経験をすることができました。

子どもたちは、日本とは異なる景色に目を輝かせ、ロサンゼルスYMCAによる温かいサポートの中でのびのびと過ごすことができました。山火事により、キャ



ンプ場での生活は短縮となりましたが、私たちは自然の中で生かされているということを改めて実感しました。ここで感じた悔しさは、キャンプの思い出をより色濃く残し、新たな目標に繋がる大きな財産となったと感じています。

キャンプ場での活動が短縮となっても、現地のスタッフの支えでさまざまな活動への参加が叶い、子どもたちは自分なりの方法で、新たな仲間と一生懸命コミュニケーションを取っていました。現地のデイプログラムに参加した際には、現地のスポーツや日本の折り紙を共に楽しみ、関係性がどんどん深まっていきました。特に、常に行動を共にしてくれた現地スタッフとは、「また会おう!」と約束しないと離れられないほど強い心のつながりが生まれました。

このキャンプでの経験が、子どもたち一人ひとりのこれからの歩みの中で、さまざまな花を咲かせていくことを願っています。（ゴールドリーダー 加藤 愛）

維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご容赦ください

維持会員(継続)

原 寛 高橋 榮一 浅野 猛雄 鈴木 賢治 近藤 保彦 渡辺 孝 中根 和隆 坂口 功祐

寄付金・募金

(学童キャンプ)

畑 佳子 藤田 瑠美 堀 里美

(こひつじ保育園10周年記念募金)

阿部建設株式会社 杉山 弘時

(チャリティーラン)

福島 照 辻 恵子 山田 幸子 杉浦 典男 義井みどり 中部日本放送株式会社

株式会社三菱UFJ銀行 小澤金属工業株式会社 東海ワイズメンズクラブ 東海窯業原料株式会社

名古屋大須ロータリークラブ

(国際協力基金)

り ゆはん 坂野 心優 米村 文杜 朱 皓宇

川本 悠友 吉田 あき 竹本 えま 竹本ももは

松尾 貴美

(クリスマスキャロル)

千年エンジニアリング株式会社

早天祈祷会

日時 11月4日(火) 7:45~8:30

会場 名古屋YMCA 5階チャペル

奨励 大島 純男 先生

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)